

「僕は高校へは進学しない」と長男が中学3年生のある日、言い出しました。それが、専業主婦だった私がNPO法人キーパーソン21を始めたきっかけでした。当時私は、3人の子どもを育てている普通の母親でしたが、「高校へ行かない」という選択肢があったのか」と子どもの言葉から強い衝撃を受けました。子どもたちは、当たり前のように高校、大学へと進学し、当たり前のように仕事を持ち、結婚もし、子どもも生まれて温か幸せな家庭を築いて幸せに生きていくものと思込んでいました。私自身はそれまでのんきに子ども時代を過ごし、大学卒業後すぐに結婚、働くとか仕事をするとか、生きるとか、そんなことは考えたこともなかったのです。

それ以来、長男の「高校へ行かない」発言は、私自身の生き方への問いに変わりました。

子どもの同級生のお母さんが「やっぱり子どもは地域が育てていかなくちゃね。」と話されていたことも一つのきっかけでした。それまで自分のことや自分の家族のことしか考えずに生きてきた私が、地域に目を向け、私にもできることがあるかもしれないと、できそうなどころから動いてみようと考えようになりました。

3月11日の東日本大震災を受けて、「みんな子どもを育てよう、地域で助け合おう」という気持ちで日本中に溢れてきているように思います。震災は不幸なことではありましたが、二人ひとりが教育や地域のあり方、そして自分の生き方を考え直すきっかけになって

いるのではないかと感じています。

私が動き出した二歩は、川崎市の起業家が集まる勉強会に参加したり、講演会を開きに行ったりでした。一番影響を受けたのは、当時株式会社飾の代表をされていた岩宮陽子さんのお話でした。4人のお子様を育てながら、一人の人間として生きる姿に勇気をもらい、私にもできそうなことを考えました。パートで働きにいかうか、雑貨屋さんを開いてみようか、カフェや保育園や塾の経営など様々な可能性のあるものを手当り次第に調べてみました。自分の好き嫌いや、向き不向き、一生懸命になれるもの、楽しいと感じるもの、自分の強みを活かせるもの、などあれこれ思いをめぐらせ、自分と向き合いました。それは、無限の可能性を感じられる、何かができる喜びで溢れたとても楽しい時間でした。

その中でもまず、最初にチャレンジしたのは、空き室を利用して自習室をオープンすることでした。自分の家では勉強できない。資格をとるための学習空間がほしい。という方に、成長を支援できるような空間を提供しました。思った以上にたくさんご利用者があり、そこから司法試験の合格者も出たり、大学に合格したという親御さんからの喜びの声をいただいたりして、家族以外の方のお役に立てるといって楽しさを知りました。そして、初めて「対価を得る」ということの面白さも覚えました。

このように、私自身が自分の生き方を考える中で気づきを得て動きだした経験から、今度

## 第15回 生涯学習を仕事にする

# 子育てからの学び

～大人と子どもと一緒にキャリアについて語りあい、成長していく場づくり～

### NPO法人キーパーソン21 代表理事 朝山 あつこ

清泉女子大学文学部卒業、三人の子どもの母親。2000年任意団体キーパーソン21設立。2001年NPO法人化。「子どもたちに夢と職業意識を運びたい」という願いのもと、小中高生世代を対象としたキャリア教育プログラムの開発実践と普及を行っている。2005年-2006年経済産業省「地域自律民間活用型キャリア教育プロジェクト」事業を受託。2006年より、企業との連携事業や全国各地の諸団体とのパートナーシップ提携による事業を開始。設立以来10年間に渡り、地域の大人や大学生とともに、のべ20,000人以上の子どもたちにキャリア教育活動を続けている。



は、自分の子どもたちにはもちろんのこと、進路や将来に迷う日本中の子どもたちに将来の仕事や生き方を考える時間や機会を提供したいと強く思うようになりました。子どもたちが自分の個性や特長、強みに気づき、それを活かしていけるようなサポートをする活動を行いたい。二人でも多くの子どもたちに夢と職業意識を運びたいと活動を開始することになりました。

私のNPO活動は、母親として日常にある素朴なクエスチョンから一歩踏み出すことでした。失敗も反省もたくさんありますが、自分の感じるままに、気持ちの向くままに、素直に進むことよって、たくさんの方々共感してくださって、NPO活動が広がっていったのだと思っています。

キーパーソン21を始めた時に、高校1年生、小学5年生、小学2年生だった息子達も、今は、社会人3年目、大学4年生、大学1年生となり、子育ても終盤です。三人の子どもたちは、キーパーソン21のプログラムの実験台でもありました。それぞれ迷いながらも自分の進む道を選び始めていることを、母親としてもうれしく思い、たくさんの方の支援に感謝しています。この喜びを一人でも多くの子どもたちやママたち、協力くださるたくさんの方々と共に、活動を続けていきたいと思っています。そして、被災した東北の皆さんにキーパーソン21のプログラムを通して、お役に立ちたいと計画中です。その実践から学ぶことが、私の生涯学習なのだと思います。



小学校にて「わくわくするお仕事ベスト3」を探し出すゲーム



中学校にてコミュニケーションの達人になってもらうゲーム



高校にて「個別アクションプログラム」でじっくり進路決定のサポート



キーパーソン21のビジョン 地域みんなで子どもたちを育てたい